



# LIXIL 端部カバーD



## ライシスフェンス6型・12型・P型、プレスタフェンス5型・6型・8型 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号

-  **ポイント**
  - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
  - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
  - 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
  - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>

### 警告

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。

### ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

## <施工上のご注意>

### 注意

- 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 柱間隔1m以内で施工の指示があるものは、必ず指示にしたがってください。強度低下の原因となります。
- 現場でブラケットや継手を組付け・締結する場合は、施工後に締結具合を必ず確認してください。締結不良は風による破損・飛散事故の原因となります。
- 柱と本体ジョイント部の間隔は300mm以内に施工してください。それ以上離れると耐風圧強度が大幅に低下します。  
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。  
φ4ネジ：1.6N・m±0.3N・m(16±3kgf・cm)
- 組付け後、鋭利な切断面やバリが露出していないことを確認してください。露出したままではケガをするおそれがありますので、必ず修正してください。

## ■ 梱包明細表

【1】ライシス6型・プレスタ6型

名称	略 図	員 数
縦枠A		1
縦枠B		1
【1-1】φ4×15 ナベタッピンネジ2種(ガイド付)		4
取付説明書<C444>	—	1

【2】ライシス12型・P型

名称	略 図	員 数
縦枠		2
グレチャン		2
【2-1】φ4×30バインドタッピン ネジ2種(G=5)(スペーサー付)		4
取付説明書<C444>	—	1

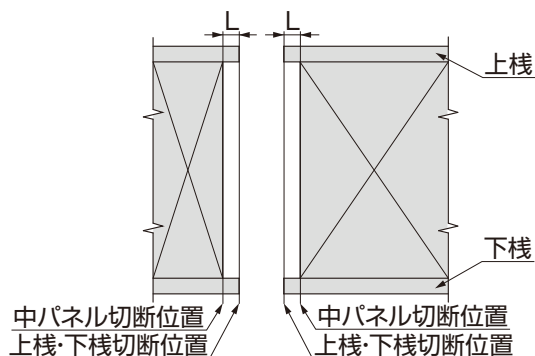
図はプレスタ6型です。

【3】プレスタ5型・8型

名称	略 図	員 数							
		分割用				切詰用			
		T-6	T-8	T-10	T-12	T-6	T-8	T-10	T-12
縦枠		2	2	2	2	1	1	1	1
縦枠		2	2	2	2	1	1	1	1
クッションA		4	4	4	4	2	2	2	2
クッションB		2	2	2	2	1	1	1	1
【3-1】φ4×15ナベタッピンネジ2種(ガイド付)		4	4	4	4	2	2	2	2
【3-2】φ4×6トラスタッピンネジ3種(D=8)		21	29	37	45	11	15	19	23
取付説明書<C444>	—	1	1	1	1	1	1	1	1

【3-2】は2本余ります。

## 1. 本体の切断



- ①本体を分割位置で切断してください。
- ②中パネルを中パネル切断位置で切断してください。

### ポイント

- 6型フェンスの上・下枠、上・下枠切断位置とパネル間の寸法Lは、左と右で異なります。フェンスの裏面(家側)から見て左右の寸法は表のようになりますので注意してください。(※1)

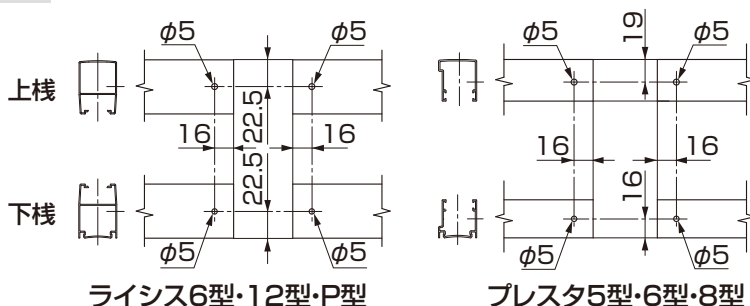
### 補足

- 6型フェンスの上・下枠、上・下枠の切断は、フェンスの構造上ライシスフェンスは100mm、プレスタフェンスは99mm単位(重ね枠1ピッチ分)で行なってください。

タイプ	中パネル切断位置 L(mm)	タイプ	中パネル切断位置 L(mm)
ライシス6型 (※1)	本体裏面から見て 縦ルーバー 左33.5、右40.5	プレスタ5型	横ブレード13.5
ライシス12型	グレチャンパンチングパネル14.5	プレスタ6型 (※1)	本体裏面から見て 縦ルーバー 左21.5、右24
ライシスP型	グレチャンポリカパネル14.5	プレスタ8型	横ルーバー13.5

## 2. 本体の孔加工

### 2-1 上・下枠の場合



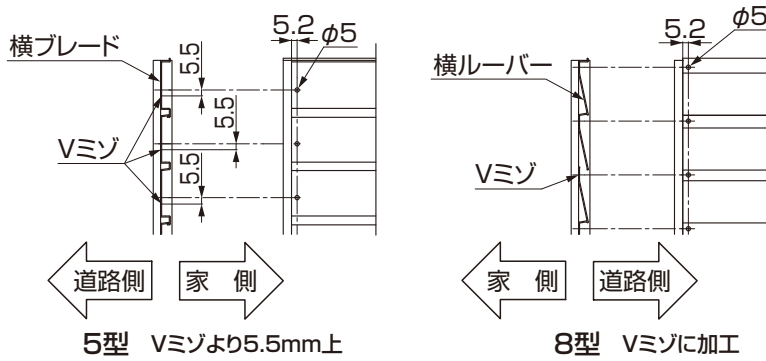
- ①左図を参照して、上・下枠にφ5の孔加工を行なってください。

### ポイント

- φ5の孔加工は裏面(家側)のみです。

## 2. 本体の孔加工 つづき

### 2-2 ブレード、ルーバーの場合



①左図を参照して、ブレード、ルーバーすべてにφ5の孔加工を行なってください。

#### ポイント

- プレスタフェンス5型はVミゾより5.5mm上の位置に孔加工をしてください。

## 3. 本体の組付け ※分割した本体のもう一方も、同様に組付けてください。

### 3-1 ライス6型・プレスタ6型の場合 ※図はライス6型ですが、組付け方はプレスタ6型も同じです。

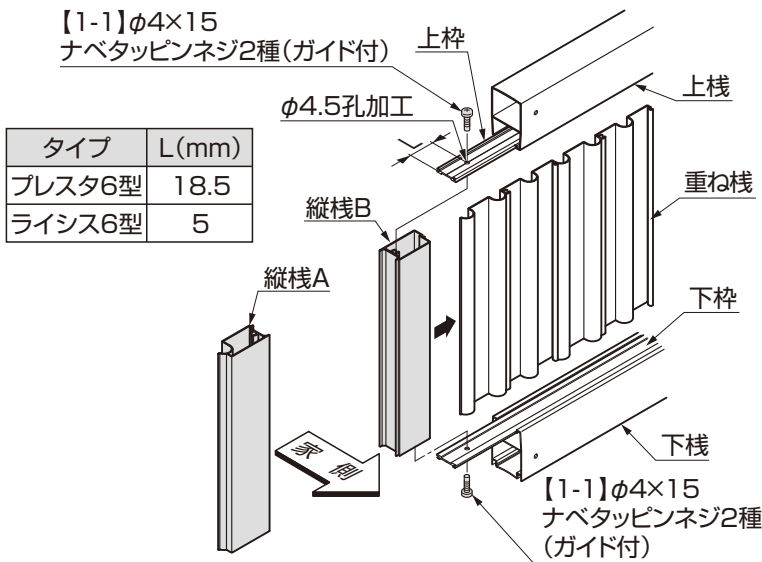


図3-1

①上・下棧を左右にスライドし、上・下棧に図3-1を参照してφ4.5の孔をあけてください。

②重ね棧を縦棧に挟み込み、縦棧を【1-1】で上・下棧に取付けてください。

#### 補足

- 縦棧の取付けは、分割したフェンスを裏側から見て左側を縦棧A、右側を縦棧Bにしてください。

③スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

### 3-2 ライス12型・P型の場合

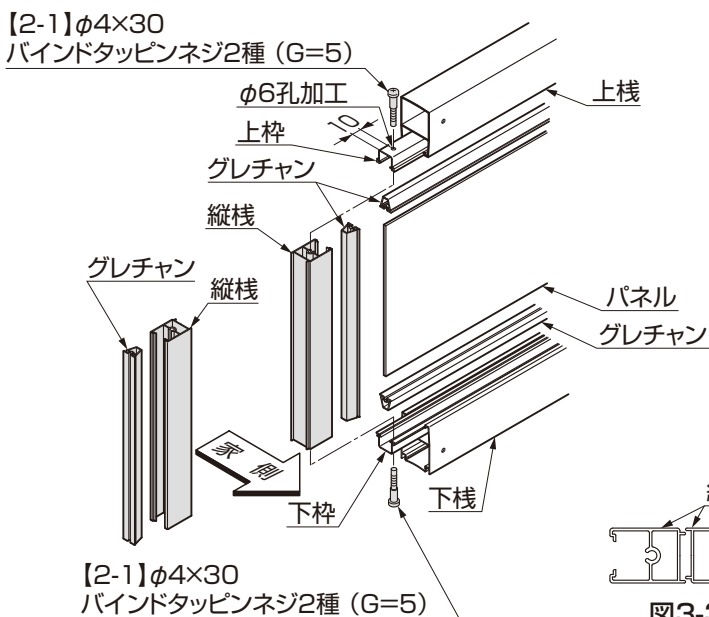


図3-2

①上・下棧を左右にスライドし、上・下棧に図3-2を参照してφ6の孔をあけてください。

②パネルを縦棧に挟み込み、縦棧を【2-1】で上・下棧に取付けてください。

#### ポイント

- 縦棧は、図3-3のようになるように取付けてください。

③スライドさせた上・下棧を元の位置に戻してください。

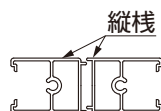


図3-3  
縦棧の取付け

### 3. 本体の組付け つづき

#### 3-3 プレスタ5型・8型の場合

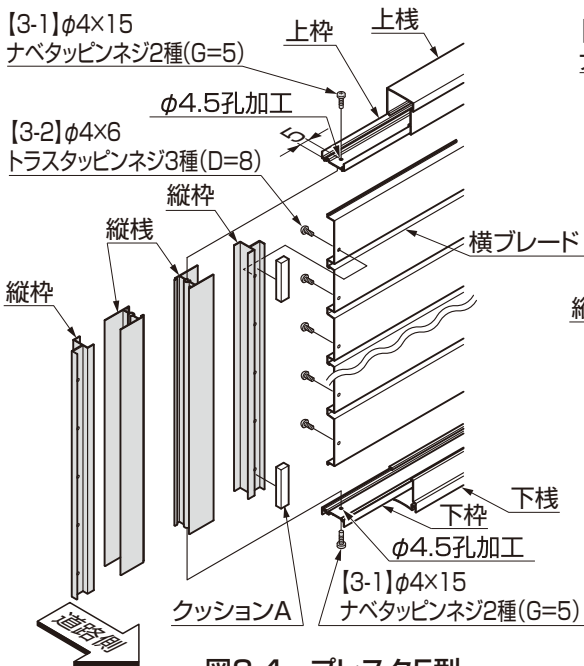


図3-4 プレスタ5型

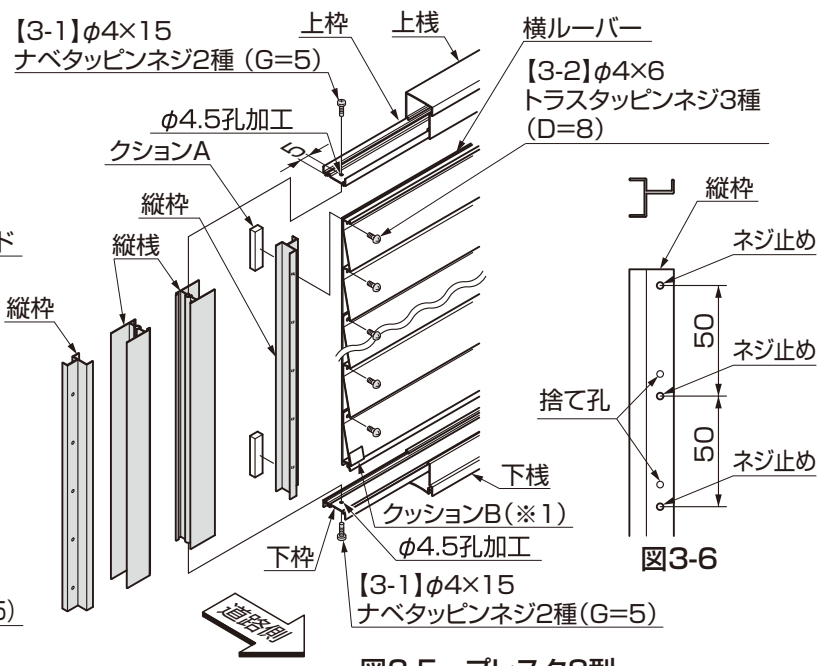


図3-5 プレスタ8型

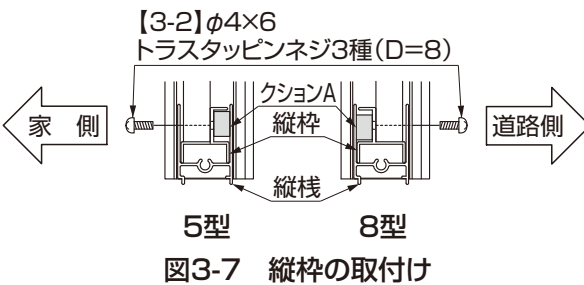


図3-7 縦柵の取付け

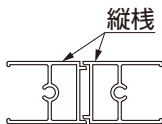


図3-8 縦柵の取付け

- ①5型は縦柵にブレードを【3-2】で取付けてください。8型は縦柵の図3-6のネジ止め孔にルーバーを【3-2】で取付けてください。

#### 補足

- 縦柵は5型・8型で、取付け向きが異なります。(図3-7)

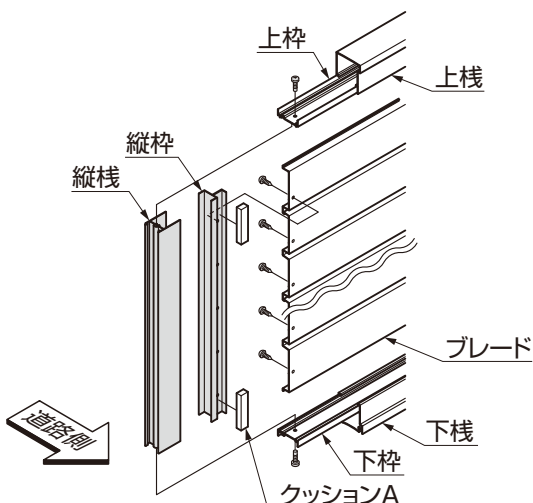
- ②上・下柵を左右にスライドし、上・下柵に図3-4、図3-5を参照してφ4.5の孔をあけてください。
- ③縦柵にクッションAを取付けてください。
- ④縦柵を【3-1】で上・下柵に取付けてください。

#### ポイント

- 縦柵は、図3-8のようになるように取付けてください。

- ⑤スライドさせた上・下柵を元の位置に戻してください。
- ⑥8型のみ、クッションBを取付けてください。(※1)

#### 3-4 プレスタ5型・8型 切詰めの場合



※詳しい取付方法は、「3-3 プレスタ5型・8型の場合」を参照してください。

- ①上・下柵、上・下柵を、切詰め長さ分切断してください。
- ②切詰めた本体のブレードの切断および、上・下柵の孔加工を行なってください。  
(「1.本体の切断」、「2-1 上柵・下柵の場合」参照)
- ③ブレードの孔加工を行なってください。  
(「2-2 ブレードの場合」参照)
- ④以降の取付手順は、「3-3 プレスタ5型・8型の場合」と同様に行なってください。

取説コード

C444

JZZ626593A  
201401A\_1047  
201607B\_1039